

【件名】

鎌倉市健診：乳がんに関して

【内容】

昨日、鎌倉市から郵送されてきた乳がんマンモ検診の受診券を持って病院に行きましたが、あなたは受けられないと拒絶されました。理由は体内に医療機器が埋め込まれているからだそうです。マンモ以外にも乳房触診と超音波検査があるがすべて自己負担になるとのことで、仕方なく乳がんの検診はせずに帰宅しました。私の場合は抗がん剤治療のため鎖骨の下にポートが埋め込んであります。私に限らず何らかの医療機器を埋め込んでいる人は多くいるはずです。健康上の理由でマンモ検診が受けられない人には、ぜひ、超音波検査に市からの補助を出していただきたいと思います。料金はそんなには変わりません。病気の治療費が重くのしかかる身としては健診に補助がでないのは本当に困ります。

ぜひ、マンモ検診ができない女性たちのこともご配慮下さい。お願い致します。

【回答】

乳がんマンモグラフィ検診では、乳房の撮影部位を圧迫して固定しますが、この際に、約8～15Kgの力が加わるといわれており、ペースメーカー等の医療機器や乳房の充填材を埋設されている場合、破損する危険性があるとされています。また、医療機器へ放射線を照射することへの影響も否定できないとされています。このため、個別での対応が必要な場合は、安全に検査を受けていただくために、検診ではなく主治医と相談して実施していただくようお願いしております。

乳房超音波検査による乳がん発見の有効性については認められているところですが、自治体を実施するがん検診は、がんによる死亡が減少することを目標に、がんの発見率や死亡率減少効果を比較し、かつ検診の精度が保たれていることなどを考慮し選択しています。このため、諸理由から現時点では鎌倉市におきましては導入しておりません。

がん検診としての乳房超音波検査につきましては、厚生労働省の「がん検診のあり方に関する検討会」において、有効性に関する協議が進められていると聞いています。また、精度の向上につきましても、各学会において積極的に取り組まれているところです。やむを得ないご事情で乳がんマンモグラフィ検診を受診することができない方にも検診をお受けいただくことができるよう、乳房超音波検査の導入につきましては、本市におきましても十分に情報を収集し、検討してまいりたいと考えています。

平成29年10月20日対応／回答